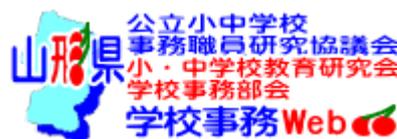


事務 Tea Time



2022年7月発行 No.66



令和4年度も3か月が経ち、協議会活動も活発となってきました。

令和4年度第1号の会報「事務 TeaTime」に会長よりごあいさつをいただきました。



後列左から：鈴木副会長 八鍬副会長 仲川副会長
前列：井上会長

会 長 井 上 元 山形市立第一中学校

今年度も引き続き会長を務めさせていただくことになりました。微力ではありますが、精一杯務めさせていただきますので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

私は、何かやらなければならないこと、やりたいことがある場合、それがたとえ困難なことでも、できないとはあまり思いません。自分なりにできるんじゃないかと思ってしまいます。なぜ、そう思えるのか自己分析すると、やらなければならないこと、やりたいことのレベルを高く設定しないで、身の丈に合わせて、自分のできることまでレベルを下げているからだと思います。

協議会として、今年度やらなければならないこと、力を入れていきたい取組は、昨年度に引き続き「学校事務の共同実施」です。モデル校事業を本実施へすすめ、そして「共同学校事務室の設置」につなげていきたいと思っています。皆様、「共同実施」の取組をできることからやっていきましょう。

「年をとってからやるつもりのことは、年をとってからではできない」という言葉を聞いたことがあります。今できることを先延ばしにすると、もうできなくなるかもしれないのです。では、できることからやる秘訣は何でしょう。それは、「取り越し苦労をしないこと」そして、「尻込みしないこと」だと思います。皆様、ともに・かかわり・つながっていれば心配無用です。すすんでいきましょう、挑戦していきましょう、山形っ子の笑顔のために。

副会長 代表理事 紹介

副会長・代表理事の皆様よりインタビューに答えていただきました。

**これがあるから
頑張れる！**

副会長 鈴木 かおり

南陽市立赤湯中学校

週末の「ちょっとお出かけ」です。最近、口コミ店のランチの後、山形市野草園へ足を延ばし自然探索。季節に咲く山野草の可憐さと吹く風に森の香りを感じるときの爽快感がたまりません。程良い食と自然を満喫すれば明日から頑張れます。

副会長 八鍬 悦子

新庄市立日新中学校

夜食べるアイス。バニラ（「爽」が一番）好きの夫と「ガリガリ君」好きの娘に悩まされながら買ってくるのも楽しいことです。食べながら今日の出来事を話すのが大事な家族の時間です（たまには二人に買ってきてほしい）。

副会長 仲川 美幸

遊佐町立藤崎小学校

なんといっても生きる原動力は食べること。毎日の給食が私の元気の源です。お気に入りには、手作りのハンバーグやジャンボシューマイ。挙げればきりがありません。デザートはイチゴババロアも絶品です。給食がある限り頑張れます（笑）



代表理事 左から

浅沼 拓さん、鈴木保子さん

鈴木千奈さん、相馬節子さん

村山ブロック代表理事 鈴木 千奈

山辺町立山辺小学校

さしあたり夏休みですね（先の楽しみを見つけること）。気分が良いと喉をゴロゴロ鳴らす猫に癒やされること。あとは、早起きをして朝活をすることでしょうか。掃除でもなんでも時間を有効に使える気がします。

置賜ブロック代表理事 鈴木 保子

米沢市立第二中学校

今まで運動らしい運動をしてこなかったのですが、最近体を動かすことに心地良さを感じられるようになりました。ヨガや、誘われて始めたバドミントン、前からやってみたかったキックボクシングにはまっています。ちなみにどれも物凄く下手ですが（*^^）v

最北ブロック代表理事 浅沼 拓

新庄市立新庄中学校

子育ても一段落したと思いきや、両親の介護に片足を突っ込むことに…。さて、仕事を終えて帰宅後のビール一杯は、さすがに旨いですね。週末には、ワイン・焼酎などなど。歳のせい、夜は早めのノックアウト。

庄内ブロック代表理事 相馬 節子

酒田市立宮野浦小学校

一名配置の学校事務職員ならではの、一日、一週間、一か月といろいろな単位の計画を自分で立てることができ、先を見通して仕事ができているとプラスαのこともウエルカムに。学校の一助になれたと自己満足し、時間を上手に使えた自分へのご褒美スイーツが最高です。

令和4年度 研究のすすめ方

1 研究テーマ（継続）

築き上げよう！子どもの豊かな学びと育ちを支援する学校事務
～ 山形っ子の笑顔のために、ともに かかわり つなぐ ～



2 活動の柱

キーワード 「専門性」「主体性」「積極性」

(1) 研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を指針として、全会員が一丸となって研究活動を進め、校務運営に参画する機会を一層拡大し、財務・総務等に通じる専門職としての役割を主体的・積極的に果たしていきます。

①研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を学び合い、理解を深め、研究及び実践に意欲的に取り組みます。

(2) 「学校事務の連携・共同実施」の本実施に向けて、4年目となる「モデル校における学校事務の連携・共同実施」の取組について、これまでの各モデル校の実践成果と課題を踏まえ、実践の改善を図ります。それにより取組をさらに一歩進め、学校事務の連携・共同実施を「共同学校事務室」の設置に向けた持続可能な取組にしていきます。

①「令和4年度モデル校における学校事務の連携・共同実施」について、各地区からモデル校事業に積極的に参加し、実践に取り組みます。

②令和3年度以前からモデル校事業に参加している地区（グループ）の、これまでの実践の成果と課題を集約し、共有することで、改善を図り実践の幅を広げていきます。

③各地区で実施している「共同実施」の定着を図り、協議会が提案した「共同学校事務室実施要綱（案）」「共同学校事務室業務要綱（案）」による共同学校事務室の設置に向けて、継続的に働きかけていきます。

(3) 研究大会 兼 県協議会設立20年記念大会を開催し、全会員の資質向上を図り、学校経営の一翼を担う学校事務職員としての専門性を高めます。

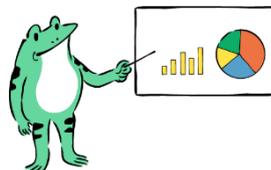
①「第3期中期研修計画」に基づき、研究大会を実施し、会員一人一人が学校事務職員として必要な力を身につけられるようにします。

なお、新型コロナウイルス感染症防止と、より多くの会員への研修の機会を提供するため、現地参集とオンラインを選択できるハイブリッド形式で開催します。今後新型コロナウイルス感染症が拡大し、参集を断念せざるを得ない場合には、オンラインのみの開催とします。

(4) 若手事務職員の育成に努めます。

①新規採用者・欠員補充者の増加に伴う研修・支援について、県教育委員会が任命権者として責任を持って、研修の拡充・支援体制の整備を行うよう引き続き強く要望していきます。

②共同学校事務室での支援体制がより有効であることを県教育委員会、教育事務所に引き続き伝えていきます。



(5) 専門部活動を活発に展開します。

各専門部は、協議会活動方針のもと、他の専門部や事務局との連携を図り、主体的に活動します。

①企画研修部

- ・第3期中期研修計画に基づき、第4回研究大会の運営を行います。
- ・3年目を迎える第3期中期研修計画について計画の見直しを行い、必要に応じて修正や追加を行います。
- ・第3期中期研修計画に基づき、令和5年度以降の研修について検討していきます。

②研究部

- ・令和4年10月6日、7日に開催される「第24回東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会」に向けたレポートを作成し、発表します。
- ・各地区・個人で行われている研究活動について、情報を収集し発信します。

③情報部

- ・リニューアルした学校事務WEBサイトを公開し、運営・維持管理・更新を行います。
- ・他の専門部・事務局・各地区と連携し、情報の収集と提供に努めます。

④3つの専門部の協働による活動

- ・各地区や会員個人の実践を募集・収集し（研究部）、中期研修計画に合わせて整理し、感想等を集め（企画研修部）、学校事務WEBサイトに掲載します（情報部）。県全体で実践や感想を共有することで、会員が学び合うための環境を整えていきます。実践募集3年目となる今年度は取り組みを総括し、よりよい専門部活動へつなげていきたいと考えています。

(6) 全国公立小中学校事務職員研究会・東北地区公立小中学校事務職員研究協議会を通して、全国及び東北との交流を深めていきます。

- ①全国・東北の研究団体と連携し、様々な情報交換を行い、最新の情報や研修会等の案内を会員へ発信し、学ぶ機会を提供していきます。
- ②第24回東北地区公立小中学校事務研究大会福島大会に、多くの参加を求め、東北の研究交流を深めていきます。

(7) 県教育委員会・教育事務所等の各教育関係機関及び、県校長会・県教頭会等の各教育関係団体と協議会役員との定例懇談会を開催し、相互理解と協議会活動の推進を図ります。

- ①学校事務職員を希望する人材を幅広く求めるために、大卒者を受け入れるよう採用制度の改正と昇任基準の明確化について働きかけていきます。
- ②教育機関内に学校事務職員の職務や研修を専門に担当する職を設置することについて働きかけていきます。
- ③つかさどる職としての学校事務職員を、全市町村教育委員会の管理規則へ確実に位置づけられるよう働きかけていきます。
- ④学校事務職員の人事評価基準について、職位に応じたものとなるよう理解と協力を求めていきます。
- ⑤令和3年度より、学校事務職員も県教育センターにおける専門研修を受講可能となったが、それにあわせて教員を対象とした研修講座の概要（基本方針）を、全教職員を対象とするものに改正することと、学校事務に関する新たな研修講座の開設を求めていきます。



各専門部より

3つの専門部の活動計画です



左から 鈴木 研究部長
矢野 企画研修部長
柴田 情報部長

企画研修部

部長 矢野由紀 山形市立みはらしの丘小学校

1 活動目標

山形県の事務職員一人一人が「主体的に考え、発信力・提案力を身につける」研修を企画する

2 活動方針

目標を達成するために、何ができるのかを意識しながら

- ① やまがた花笠プランを根底に置き、第3期中期研修計画に基づいた研修の企画・運営を行う。
- ② 部員一人一人が主体的に考え意見交換を重ねることで、より良いものを練り上げ創り出していく。
- ③ 世代交代の時期を迎え、持続可能な研修の在り方について考えながら、活動を進めていく。

3 活動内容

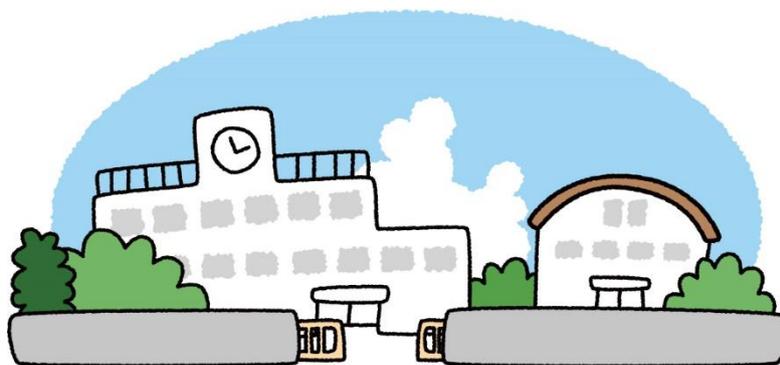
- ・ 第4回研究大会の運営を行う。
- ・ 第3期中期研修計画の見直しを行い、次年度以降の研修について検討する。
- ・ 研究部・情報部と協力して実践募集の取り組みを行い、会員の学びの環境づくりを進める。



4 今年度の活動予定

開催日時 開催場所	活動項目	活 動 内 容
6月3日 山形県学生協	第1回 企画研修部会	○今年度の活動について ○部内役割分担 ○研究大会運営について
6月28日 山形県学生協	第2回 企画研修部会	○研究大会運営について（会場下見） ○実践募集の取り組みについて
8月2日	研究大会	第4回研究大会運営
10月 山形県学生協	第3回 企画研修部会	○研究大会反省について ○第3期中期研修計画の見直しについて
12月 山形県学生協	第4回 企画研修部会	○第3期中期研修計画の見直しについて ○次年度の研修について
2月 山形県学生協	第5回 企画研修部会	○令和4年度活動総括 ○令和5年度活動内容検討

※新型コロナウイルス感染症の状況により、計画を変更することがあります。



研 究 部



部長 鈴木善文 鶴岡市立湯野浜小学校

1 活動について

- ① 令和4年度 東北事務研究大会福島大会における研究発表に向けた準備を進める。
- ② 研究のすすめ方、調査統計の取り方・まとめ方について研修する。
- ③ 会員・各地区における実践を募集する。→企画研修部・情報部と連携し取り組む。
- ④ 会員・各地区における研究について情報収集する。

2 活動計画

実施月日	活動項目	研 修 内 容
6月3日	第1回 研究部会	・これまでの研究経過と、これからの研究計画について ・今年度の研究体制について ・福島大会研究内容についての検討 ・会員・各地区における実践募集について
7月	第2回 研究部会	・東北事務研究担当者会報告 ・福島大会研究レポート発表リハーサル レポート・発表原稿及びプレゼンの検討 ・会員・各地区における実践募集について
8月2日	研究大会	・福島大会研究レポート発表
9月	第3回 研究部会	・東北事務研究大会福島大会に向けてレポート発表練習 想定質問検討 ・研究のすすめ方、調査統計の取り方・まとめ方等研修に ついての準備 ・会員・各地区における実践募集について
10月6日 7日	東北事務研究 大会福島大会	・研究レポート発表、分科会（山形）司会
12月2日	第4回 研究部会	・役員会・理事会報告 ・東北事務研究大会福島大会の反省 ・研究のすすめ方、調査統計の取り方・まとめ方等研修① ・会員・各地区における実践募集について
2月	第5回 研究部会	・東北事務研究担当者会報告 ・今年度のまとめ ・研究のすすめ方、調査統計の取り方・まとめ方等研修②

* 東北地区研究担当者会

令和4年6月24日「郡山ユラックス熱海」 令和5年2月3日「盛岡市アイーナ」

* 東北事務研究大会福島大会事前打合せ会

令和4年8月5日「郡山ユラックス熱海」

情報部



部長 柴田由香 東根市立大森小学校

1 活動目標

全会員に必要とされる山形県学校事務 WEB サイトを運営する

2 活動方針

- ① 事務局・各専門部・地区との連携を念頭に置いた活動を行う。
- ② リニューアルしたサイトを公開し、見やすく、親しみやすいサイトを目指して維持管理・更新を行う。
- ③ 情報の発信・収集を行う。

3 具体的な活動内容

- ① リニューアルしたサイトを公開し、県内外に周知する。
- ② コンテンツの深化と精選に努める。
 - ・よりアクセスしていただくための工夫を考えていく。
 - ・掲載内容を検討し、状況によりメニューの精選、利活用を図ることを随時念頭に置く。
- ③ メールマガジンを積極的に利用し、情報発信を行っていく。
 - ・メールマガジンは直接会員の手元に届くため、迅速且つ確実な情報伝達手段の一つである。事務局や専門部、各地区と連携し、多くの情報を発信していく。依頼により臨時便にも対応する。
- ④ 地区との連携強化を図る。
 - ・ブロック選出情報部員の活動重点として、それぞれの地区の情報収集及び WEB サイトでの広報を通じ、地区に密着した活動を行い、各地区研究物の収集をする。
 - ・WEB サイトについて不明な点があった場合など、適切なフォローを行う。
 - ・理事の方にも例年同様、原稿依頼や連絡事項の周知徹底について協力を依頼する。
- ⑤ 実践募集を研究部・企画研修部と連携して取り組む。



4 今年度の活動と日程

開催日時	活動項目	活動内容
6月3日	第1回 情報部会	・今年度の組織と活動について ・グループ別会議
6月30日	第2回 情報部会	・これまでの活動と今後の活動について ・グループ別会議
8月2日	研究大会	
10月	第3回 情報部会	・これまでの活動と今後の活動について ・グループ別会議
1月	第4回 情報部会	・これまでの活動と今後の活動について ・グループ別会議 ・次年度の活動について

山形県公立小中学校事務職員研究協議会 役員

役職名	氏名	所属校	備考
会長	井上 元	山形市立第一中学校	
副会長	鈴木 かおり	南陽市立赤湯中学校	
	八鍬 悦子	新庄市立日新中学校	
	仲川 美幸	遊佐町立藤崎小学校	
企画研修部長	矢野 由紀	山形市立みはらしの丘小学校	
研究部長	鈴木 善文	鶴岡市立湯野浜小学校	
情報部長	柴田 由香	東根市立大森小学校	
監事	太田 一	山形市立西小学校	
	鈴木 早苗	山形市立第十中学校	
事務局長	真下 久美子	山形市立蔵王第一中学校	
事務局次長	太田 洋子	山形市立金井小学校	
事務局員	井上 久美	上山市立南小学校	
	門脇 千夏	舟形町立舟形中学校	
	鎌田 佳奈	山形市立高楯中学校	
	織田 裕介	戸沢村立戸沢学園（後期）	
	角田 琉歩	高畠町立糠野目小学校	
	佐藤 史奈	山形市立高瀬小学校	
顧問	新宮 利浩	寒河江市立高松小学校	



後列左から 角田琉歩さん 佐藤史奈さん 門脇千夏さん 井上久美さん 鎌田佳奈さん 織田裕介さん
前列左から 真下久美子さん 新宮利浩さん 太田洋子さん

県協議会理事 / 県学校事務部会地区委員

地区名	小 学 校			中 学 校		
	氏 名	所 属 校	備 考	氏 名	所 属 校	備 考
山 形	田苗 朋子	南沼原小		神保 明子	山形三中	
上 山	千原 美紀子	宮川小		我妻 篤	上山北中	
東村山	鈴木 千奈	山辺小	代表理事	安孫子 里佐	天童四中	
西村山	今田 哲	谷地中部小		岩淵 満里子	河北中	
北村山	高橋 美香子	大石田小		宗片 律子	東根一中	
最 上	伊藤 久美子	金山小		浅沼 拓	新庄中	代表理事
米 沢	北見 舞香	上郷小		鈴木 保子	米沢二中	代表理事
東置賜	色摩 英美子	宮内小		嵐田 みのり	沖郷中	
西置賜	安部 容子	長井小		蒲生 美芳	長井南中	
田 川	佐々木 由美	余目三小		佐藤 真里	鶴岡二中	
酒 田 遊 佐	相馬 節子	宮野浦小	代表理事	齊藤 琴枝	酒田一中	
	石垣 智子	遊佐小				



企 画 研 修 部							
地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
山 形	矢野 由紀	みはらしの丘小	部長				
東置賜	色摩 英美子	宮内小	研究協力者				
田 川	井上 稔	鶴岡三中	研究協力者				
村 山	山 形	佐藤 章子	桜田小	置 賜	米 沢	江口 成美	米沢五中
	上 山	千原 美紀子	宮川小		東置賜	工藤 日菜	沖郷小
	東村山	高橋 杜於	相模小		西置賜	我妻 桃花	添川小
	西村山	武田 葵	本郷東小	庄 内	田 川	小林 恵美	京田小
最 北	北村山	伊藤 泉美	小田島小		酒 遊	田 佐	村田 こう
	最 上	長南 敦湖	真室川あさひ小				

研 究 部							
地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
田 川	鈴木 善文	湯野浜小	部長				
東置賜	伊藤 智美	赤湯小	研究協力者				
西置賜	安部 容子	長井小	研究協力者				
村 山	山 形	佐藤 茉綾	宮浦小	置 賜	米 沢	狩野 久美子	南部小
	上 山	我妻 篤	上山北中		東置賜	横山 寛子	川西中
	東村山	樋口 舞	津山小		西置賜	仁科 佳代子	長井北中
	西村山	安達 千穂	醍醐小	庄 内	田 川	菅原 隆	藤島中
最 北	北村山	原田 理哉	福原中		酒 遊	田 佐	白畑 隼人
	最 上	海藤 かすみ	萩野学園(前期)				

情 報 部							
地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
北村山	柴田 由香	大森小	部長				
東村山 (会長委嘱)	笹 廣祐	荒谷小	Web Master				
酒田遊佐 (会長委嘱)	石垣 聡	浜田小	米 沢 (会長委嘱)	佐藤 健太	塩井小		
北村山 (会長委嘱)	田苗 欣也	東根中部小	置 賜	米 沢	大貫 優斗	六郷小	
村 山	東村山	青柳 涼子		天童中部小	東置賜	小沢田 光生	梨郷小
	西村山	堀江 実桜	西川中	庄 内	田 川	石井 理恵	三川中
最 北	北村山	沓澤 龍未	大石田北小		酒 遊	田 佐	栄田 玲花
		北村山	五十嵐 幸生	常盤小			

ねっとわ〜く from 河北町

河北町は、山形県のほぼ中央にあり、最上川と清流寒河江川に囲まれた、風光明媚な環境の中にあります。今回はそんな河北町の名所やおいしい食べ物など河北町の魅力を紹介します。

① 紅花資料館

河北町紅花資料館は、近郷きっての富豪だった堀米四郎兵衛の屋敷跡です。この屋敷には武器や生活用品及び古文書など5000点が保存されています。

敷地内にはお食事処「八景庵」や紅花染めの体験ができる「紅染工房くれない」、町内の特産名産品を展示即売する「物産館」など、楽しめる場所が多くあります。



② 冷たい肉そば

コシの強い田舎そばに、鶏肉からダシをとった甘じょっぱいたれをかけ、親鶏のチャーシューと小口に刻んだネギを載せるのが「河北町式」。町内約20店舗でこの肉そばを提供し、16店舗のそば屋さんで結成する「谷地の肉そば会」が味を守り続けています。

まさに、河北町民のソウルフードです！



③ ソースカツ丼

河北町には肉そばとは別に「隠れたソウルフード」があります。それがソースカツ丼！卵でとじない揚げたてのカツを使ったカツ丼でカレー風味なのが河北流です。

そして、最大の特徴は「肉そば（ラーメン）とのセットメニュー」だということです。肉そばを提供しているお店には必ずソースカツ丼も販売しており「冷たい肉そばとミニソースカツ丼のセット」を注文するのが、一般的となっています。学校給食でもソースカツ丼が出てきて、子どもたちにも大人気です。

ぜひ一度食べに来てけらっしゃ〜い。



河北町公式
マスコットキャラクター
べにのすけ